

事業番号	事務事業名	各種スポーツ大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06573	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興係	担当者・シート作成者	山本 翔大
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	主に2つの事業があり、1つ目はスポーツの全国規模大会(国体・インターハイ・全国中学生大会等)に出場する選手に激励金を支給する事業であり、壮行式を開催し激励金の贈呈を行う。選手1人当たり10,000円を支給する。2つ目は各種スポーツ大会事業であり、スポーツ推進委員主催のスポーツ大会における準備を行う。	国体や全国選手権大会・インターハイなどの大会に出場する町内在住の選手の健闘を激励するために開始した。ニュースポーツ普及のためスポーツ推進委員主催のスポーツ大会を平成9年から開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ 全国大会出場者	イ 全国大会出場者数	人	見込 実績	35 42	35 35	35 5	35	35
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア ニュースポーツの楽しさを知ってもらう	ア ニュースポーツ指導を受けた人数	人	目標 実績 達成率	450 772 171.6%	450 581 129.1%	450 88 19.6%	450	450
イ 大会出場者の競技意欲の向上を図る	イ 入賞者数	人	目標 実績 達成率	5 0 0.0%	5 0 0.0%	5 0 0.0%	5	5
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 各地域でのニュースポーツ指導開催	ア ニュースポーツ指導回数	回	目標 実績 達成率	20 18 90.0%	20 13 65.0%	20 3 15.0%	20	20
イ 激励金贈呈	イ 激励金贈呈者数	人	目標 実績 達成率	35 42 120.0%	35 35 100.0%	35 5 14.3%	35	35
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 07 保健体育費	目 01 保健体育総務費	大事業 中事業 07 01	予算上の事業名	事業番号						
						各種スポーツ大会事業費	06573						
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財	20	20	20	20	20		その他特財	12	19	12	20	20	-7
一般財源	682	678	364	653	653	-314	一般財源	639	507	142	653	653	-365
合計	702	698	384	673	673	-314	合計(A)	651	526	154	673	673	-372
財源名称	イベント参加料			従事正職員人数				2	2	2	2	2	
				延べ業務事務時間				30	30	30	30	30	
				人件費計(千円)(B)				101	105	100	101	101	-5
	最終予算額	384 千円	予算執行率	40.1%	トータルコスト(A+B)				752	631	254	774	774
主な支出事業内容(予算)	報奨金			240 千円			主な支出事業内容(決算)	報奨金			50 千円		
	消耗品費			140 千円				消耗品費			102 千円		
	食糧費			4 千円				食糧費			2 千円		

事業番号	06573	事務事業名	各種スポーツ大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 様々な競技で全国大会出場者が出ている。また、年齢層も小学生から社会人まで幅広い層がある。スポーツ推進委員によるスポーツ指導も普及しつつあり、大会参加者も増加傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 全国大会出場選手については、対象者を把握するために学校などとの連携を行っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 壮行式の開催・スポーツ大会を開催することで、競技の周知につながる。放課後児童クラブやPTAからNS指導の要請を月1回程度受けていたが、今年度についてはコロナウイルス感染症まん延防止のため年度途中より要請を断った。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	この事業は全国大会出場選手を激励し、選手の活動を祈念するとともに、町民に広く周知しスポーツへの関心を高めることを目的としており、政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町内選手の活動支援と広報は行政が行う必要がある。また幅広い年代層の健康づくりの一助となるべく活動するSP推進委員会のサポートは町行政が行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	全国大会出場者や町民を対象としており、妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	全国大会出場者の活躍により、競技の人口が増えることで成果の向上が図れる。またNS指導を通じ健康づくり機運の醸成にも貢献できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	町民のスポーツへの関心とスポーツに取り組む意欲高揚が損なわれ、町民の健康づくり意識の低下を招く恐れがある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	学校や各公民館との連携強化を進めることで、対象者の把握と成果の向上が図れる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	支援対象大会を明確化・見直しを図ることにより削減余地はある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	激励会式典も簡素なものであり、SP推進委員も完全ボランティア活動をおこなっており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	内規に基づく大会へ参加する町内選手が対象であり、受益や地域による不公平さはない。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	激励金贈呈対象者が年々増加してきている。未成年の場合は保護者から受領書を受け取っており、確実な実務執行ができた。また、SP推進委員会主催大会の開催については問題なく終えることができた。新規の参加者も増えており、各地域でのNS指導の成果が徐々に表れている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 激励金贈呈対象者の把握のため、さらに学校などとの連携を図る。NS指導・大会開催については、各公民館・学校との連携を密にしていく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
激励金贈呈の規則化の検討及びNS大会の開催種目の多様化の検討。																									